



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月6日

上場会社名 株式会社メディアドゥ

コード番号 3678 URL <http://mediado.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 恭嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長

(氏名) 鈴木 克征

TEL 03-5358-7787

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,623	41.8	161	50.5	161	53.1	90	26.7
26年2月期第2四半期	2,555	—	107	—	105	—	71	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	19.64	18.74
26年2月期第2四半期	19.26	—

- (注) 1. 当社は第2四半期の業績開示を平成26年2月期第2四半期より行っているため、平成26年2月期第2四半期の「対前年同四半期増減率」の記載をしておりません。
 2. 当社は、平成25年9月14日付けで普通株式1株につき100株の株式分割、平成26年3月1日付けで株式1株につき2株の株式分割を行っております。「1株あたり四半期純利益」につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算出しております。
 3. 平成26年第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、新株予約権の残高はありますが、平成26年第2四半期末時点において当社は非上場であったため、期中平均株価の把握ができませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,375	—	1,678	—	—	49.6
26年2月期	2,908	—	1,437	—	—	49.4

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,674百万円 26年2月期 1,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年2月期の配当予想につきましては、現在未定です。

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,016	44.6	403	59.8	402	76.1	213	21.0	47.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	4,767,400 株	26年2月期	4,460,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期2Q	— 株	26年2月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	4,611,656 株	26年2月期2Q	3,712,800 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年9月14日付で普通株式1株につき100の株式分割を行っております。また、平成26年3月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。」

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策により円安・株高傾向が続き、企業収益や設備投資に改善傾向がみられ、景気は緩やかに回復基調が続きました。また雇用環境が着実に改善するなかで、個人消費や住宅投資なども底堅く推移し消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も徐々に和らぎつつあります。

当社にも影響するモバイルビジネスを取り巻く事業環境については、平成26年6月末時点で携帯電話契約数は1億4,106万件（前年同期比5.8%増）（社団法人電気通信事業者協会発表）となりました。また、平成26年3月末のスマートフォン契約数は5,734万件と携帯電話契約数全体の47.0%まで拡大いたしました。（MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測」平成26年4月発表）

当社の主力事業の事業領域である電子書籍市場の市場動向は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2014」の調査結果によると平成25年度の電子書籍市場は936億円と推測されております。また、平成30年度の電子書籍市場は平成25年度の2.9倍の2,790億円程度になると予測されております。

このような事業環境の下、当社は引き続き、電子書籍事業におけるディストリビューション、アライアンス、ストア運営など、既存ビジネスの積極的な業容の拡大に取り組んでまいりました。

また、新たな取り組みとして株式会社ACCESSが開発し、株式会社医学書院が展開するiPad用電子書籍アプリ「iTex（アイテックス）ビューア」を共同企画し、今秋の本格運用を目処に7月より試験運用中であり、さらにグローバル展開に向けて、米国Scribd Inc.と戦略提携を行い同社が展開する電子書籍サブスクリプション（読み放題）サービス向けに国内コンテンツを提供すべく国内各出版社へ営業を開始しました。

その他、弊社が運営する電子書籍コンテンツ配信サーバー「md-dc」の月間ダウンロード総数（サンプルダウンロードも含む）が平成26年8月単月において、6,600万ダウンロードを突破いたしました。

フィーチャーフォンからスマートフォンへの移行によって電子書籍市場が停滞していた平成24年8月の約1,400万ダウンロードから、わずか2年で4.7倍のダウンロードを達成いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、3,623,066千円（前年同期比41.8%増）、経常利益は161,047千円（前年同期比53.1%増）、四半期純利益は90,591千円（前年同期比26.7%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(電子書籍事業)

電子書籍事業につきましては、新規アライアンス先の開拓、既存取引先書店のためのコンテンツ獲得及びプロモーション支援などを行い、売上拡大に努めました。

その結果、売上高は3,166,284千円（前年同期比51.6%増）、セグメント利益は136,832千円（前年同期比58.5%増）となりました。

(音楽・映像事業)

音楽・映像事業につきましては、スマートフォン向け音楽配信サイトの会員は増加しましたが、フィーチャーフォン向け各サービスの利用会員は減少いたしました。その結果、売上高は246,984千円（前年同期比13.7%減）、セグメント利益は22,608千円（前年同期比13.8%減）となりました。

(ゲーム事業)

ゲーム事業につきましては、株式会社NTTドコモが提供する「dゲーム」プラットフォームに提供しているタイトルの売上は順調に推移しておりますが、ソーシャルゲーム市場競争激化によりその他のSNSプラットフォームに提供しておりますタイトルの売上げは減少しております。

その結果、売上高は81,889千円（前年同期比34.1%減）、セグメント利益は2,679千円（前年同期は3,797千円の損失）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、ニュース・情報系携帯電話サイト運営代行及びサイト内広告枠の専属取扱を引き続き行ってまいりました。

その結果、売上高は127,907千円（前年同期比126.4%増）、セグメント損失は1,010千円（前年同期は1,678千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、3,375,658千円となり、前事業年度末と比べ467,636千円増加しました。

流動資産は前事業年度末に比べ521,002千円増加し、3,003,470千円となりました。

主な要因は、売上高増加に伴い売掛金が297,737千円増加したこと、新株予約権行使による新株発行等により現金及び預金が235,757千円増加したこと、その他流動資産が8,951千円増加する一方で、仕掛品が5,250千円、前払費用が10,659千円、繰延税金資産が4,013千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ53,365千円減少し、372,188千円となりました。

主な要因は、有形固定資産が906千円増加した一方で、無形固定資産が27,344千円、投資その他の資産が26,926千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,697,650千円となり前事業年度末に比べ227,023千円増加しました。

流動負債は、前事業年度末に比べ230,885千円増加し、1,688,549千円となりました。

主な要因は、1年以内返済予定の長期借入金が36,268千円、未払金が42,186千円、未払法人税等が52,464千円減少する一方で、売上増加に伴う売上原価増加によって買掛金が359,157千円、未払消費税が6,586千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3,861千円減少し、9,100千円となりました。

主な要因は、長期借入金4,560千円を流動負債に振り替えたことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,678,008千円となり、前事業年度末に比べ240,613千円増加しました。

主な要因は、新株予約権行使による新株発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ73,040千円増加したこと、また四半期純利益計上に伴う利益剰余金が90,591千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末より64,242千円減少し、1,212,799千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、247,101千円（前年同期比40.9%減）となりました。

この主たる要因は、売上債権の増加297,737千円、仕入債務の増加359,157千円及び減価償却費113,333千円、前払費用の減少が10,635千円あったためによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、419,852千円（前年同期比280.2%増）となりました。

この主たる要因は、定期預金の預入による支出が300,000千円、サーバー等の有形固定資産の取得による支出が64,947千円、ソフトウェアやコンテンツ等の無形固定資産の取得による支出65,591千円及び貸付金による支出が15,000千円ありましたが、差入保証金の回収による収入が31,075千円あったためによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は108,508千円（前年同期は138,878千円の使用）となりました。

この主たる要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入が145,394千円ありましたが、長期借入金の返済による支出が40,828千円あったためによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年4月8日に公表いたしました、平成27年2月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,277,042	1,512,799
売掛金	1,140,541	1,438,278
商品	72	5
仕掛品	5,878	628
貯蔵品	224	79
前払費用	45,332	34,673
繰延税金資産	26,874	22,860
その他	6,556	15,507
貸倒引当金	△20,053	△21,362
流動資産合計	2,482,468	3,003,470
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,156	53,799
減価償却累計額	△19,928	△6,378
建物(純額)	7,227	47,420
工具、器具及び備品	272,908	232,347
減価償却累計額	△244,312	△193,677
工具、器具及び備品(純額)	28,595	38,669
建設仮勘定	49,360	—
有形固定資産合計	85,183	86,089
無形固定資産		
ソフトウェア	84,945	57,084
ソフトウェア仮勘定	32,991	41,114
コンテンツ	51,169	43,562
その他	351	351
無形固定資産合計	169,458	142,113
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
長期前払費用	2,564	1,782
長期貸付金	—	15,000
繰延税金資産	96,286	84,394
差入保証金	72,059	42,807
投資その他の資産合計	170,911	143,984
固定資産合計	425,553	372,188
資産合計	2,908,021	3,375,658

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,029,399	1,388,557
1年内返済予定の長期借入金	53,538	17,270
未払金	192,220	150,033
未払費用	1,955	6,842
未払法人税等	103,903	51,438
未払消費税等	19,439	26,025
預り金	5,142	4,292
ポイント引当金	45,415	43,801
資産除去債務	6,370	—
その他	279	287
流動負債合計	1,457,664	1,688,549
固定負債		
長期借入金	4,560	—
資産除去債務	8,402	9,100
固定負債合計	12,962	9,100
負債合計	1,470,627	1,697,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,423	849,463
資本剰余金	480,070	553,110
利益剰余金	180,900	271,491
株主資本合計	1,437,394	1,674,065
新株予約権	—	3,942
純資産合計	1,437,394	1,678,008
負債純資産合計	2,908,021	3,375,658

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	2,555,584	3,623,066
売上原価	2,053,318	3,099,367
売上総利益	502,265	523,698
販売費及び一般管理費	395,191	362,588
営業利益	107,073	161,110
営業外収益		
受取利息	29	206
助成金収入	—	700
その他	16	66
営業外収益合計	46	972
営業外費用		
支払利息	1,954	262
株式交付費	—	772
その他	6	0
営業外費用合計	1,961	1,035
経常利益	105,159	161,047
特別損失		
固定資産除却損	22	1,790
事務所移転費用	—	4,354
特別損失合計	22	6,145
税引前四半期純利益	105,136	154,902
法人税、住民税及び事業税	46,629	48,405
法人税等調整額	△13,005	15,906
法人税等合計	33,623	64,311
四半期純利益	71,512	90,591

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	105,136	154,902
減価償却費	130,789	113,333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△388	1,309
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	3,286	△1,614
受取利息	△29	△206
支払利息	1,954	262
固定資産除売却損益 (△は益)	22	1,790
事務所移転費用	—	4,354
売上債権の増減額 (△は増加)	△79,599	△297,737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	50	5,462
前払費用の増減額 (△は増加)	2,551	10,635
長期前払費用の増減額 (△は増加)	1,184	506
仕入債務の増減額 (△は減少)	270,075	359,157
未払金の増減額 (△は減少)	21,787	△2,163
預り金の増減額 (△は減少)	△46	△849
未払法人税等の増減額 (△は減少)	△2,553	△1,412
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,192	7,927
その他	△11,136	△9,065
小計	432,893	346,591
利息及び配当金の受取額	29	206
利息の支払額	△1,607	△238
法人税等の支払額	△13,234	△99,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	418,081	247,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△1,291	△64,947
無形固定資産の取得による支出	△97,059	△65,591
貸付けによる支出	—	△15,000
投資有価証券の取得による支出	△10,500	—
差入保証金の差入による支出	△835	△1,823
差入保証金の回収による収入	—	31,075
資産除去債務の履行による支出	—	△3,565
その他	△742	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,427	△419,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△210,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,928	△40,828
株式の発行による収入	112,050	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	145,394
新株予約権の発行による収入	—	3,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,878	108,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	168,776	△64,242
現金及び現金同等物の期首残高	159,870	1,277,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	328,646	1,212,799

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ73,040千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が849,463千円、資本剰余金が533,110千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期 損益計算書 計上額 (注)
	電子書籍 事業	音楽・映像 事業	ゲーム事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,088,788	286,032	124,257	56,504	2,555,584	—	2,555,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,088,788	286,032	124,257	56,504	2,555,584	—	2,555,584
セグメント利益又は損失 (△)	86,309	26,239	△3,797	△1,678	107,073	—	107,073

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期 損益計算書 計上額 (注)
	電子書籍 事業	音楽・映像 事業	ゲーム事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,166,284	246,984	81,889	127,907	3,623,066	—	3,623,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,166,284	246,984	81,889	127,907	3,623,066	—	3,623,066
セグメント利益又は損失 (△)	136,832	22,608	2,679	△1,010	161,110	—	161,110

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。